

# 介護の質を上げる 看護師の仕事

利用者の健康管理に気を配りながら、必要に応じて医療行為を行う介護施設の看護師。

利用者がその人らしさを保ちながらより良く生活していけるようサポートしつつ、

体調の変化をいち早く察知して医師につなぐ、重要な役割を担う。

介護職や相談員などの多職種連携におけるキーパーソンとしての期待も大きい。

利用者の高齢化が進むなか、容態の急変や感染症の発生、看取りへの対応など、

看護師のスキルと判断力が必要となるシーンは広がる一方だ。

看護師がその役割を十分に発揮できる環境整備・職場づくりは、介護施設にとってますます重要になっていく。

取材・文／松浦美紀



## 解説

### 看護師へのサポート体制が 施設の介護・看護の質に 大きく影響する

介護現場における看護師の役割とは何か。介護施設と病院との業務の違いは何か。

看護師が介護施設で働くことの意義やメリット、看護師が力を発揮できる職場にするための留意点などについて、

オンライン医療相談と夜間オンコール代行で介護施設をサポートするドクター・メイスト株式会社の能登静子さんが解説する。

#### “医療的判断について” 看護師任せにはしない

私は県立病院などで30年以上、看護師として働き、その後、特養で看護部門の責任者を5年間勤めました。介護施設で働き始めたときにまず考えたのは、医療設備がほとんどない生活の場である介護施設で看護師に「何が求められているのか」です。

それは、第一に利用者の健康管理です。病気にならない工夫をするのが大切で、もともと高齢者はさまざまな病気をもっている人が多いですが、病気を治すというより病気と

付き合いながら、より良い生活をしてもらおう。その視点が必要になります。

さらに、利用者をよく観察して体調不良を早く発見し、入院しなくても済むようにすることも大切です。

これには医療的スキルが必要になります。医療的スキルといっても、痰の吸引や薬の管理などを行うだけでなく、利用者を見て状態を把握し、何をすべきか判断しなければなりません。

医療機器もなく、医師もそばにいない状況で、あるのは聴診器と血圧計だけ。自分の手や耳を使って観察し、受診が必要だと判断したら

嘱託医に連絡したり、病院を受診する。

。それが施設の看護師に求められる重要な医療的スキルなのです（次ページ図表1）。

ここで大切なのが、医療的な判断が必要になったときに、相談できる体制が整っているかどうかです。施設内にいる医療者は看護師だけではなく、一緒に考えてくれる仲間がいたり、協力医療機関などの医師にすぐ

に相談できるようにする必要があります。看護師は必要以上の責任や負担を感じることなく判断ができます。

施設の管理者は、看護師がどこまで

の仕事をしているのか、どこまで負担を感じているのかを理解し、サポートする役割があると考えます。

「医療的なことは看護師に任せているから」というスタンスでは、看護師に負荷がかかりやすくなります。管理者は看護師任せにするのではなく、看護師が適正に判断するためのサポート体制を構築するのが役割であり、そしてそれが施設の介護・看護の質にも大きく影響してきます。

です。

#### 看護師が働きやすい環境と 管理者の役割

介護施設の看護師が安心して働けるかどうかは、管理者の対応にかかっています。たとえば、利用者が病院から退院するとき、施設の看護

続きは、本誌5月号をご覧ください

© ohayou! - stock.adobe.com

© ARMMY PICCA - stock.adobe.com